

令和4年度 みやぎ地域復興支援助成金 採択団体一覧 (50音順)

願望	事業者名	事業名	事業の内容	主たる活動地域 (市町村名)
1	あおい地区会	高齢者見守り及び生きがいがづくり事業	防災集団移転地で高齢者が多く暮らし(高齢化率51.5%)また独居世帯(日中独居含む)も多く住民が見守る体制の維持継続が不可欠です。 事業1:高齢者、独居世帯中心の見守り活動 事業2:あおい農園の運営 事業3:あおい地区の連携と情報発信及び独自イベントの検討・開催 ①地域情報(あおい通信)の発行 ②独自イベント(高齢者/パソコン教室など)の開催 ③あおい地区連携協議会開催	東松島市
2	特定非営利活動法人アスイク	震災後に増加している不登校の子どもの居場所づくり	震災後、宮城県内の不登校率は上昇傾向にある。当法人が実施した利用者アンケートでは、回答者の7割が震災によって影響を受けていた。長引く震災の影響による将来のひきこもり、貧困等を防ぐために、下記のサポートを行う。 ・場所/時間:泉中央/水・金、東口/火・木、長町/水・金 ※各9:30~16:00 ・対象:小学生から概ね20歳程度 ・内容:居場所支援、訪問支援、就労支援	仙台市
3	市民公益活動団体石巻キャリア教育推進ネット	放課後読書会から学びの世界へ	・R3年度全国学力・学習状況調査結果で石巻市は、国語が全国平均から-5%であり県の平均からも下回っている。 ・「平日1日当たり全く読書をしていない」と回答した割合は小学生で増加しており、被災後移住等を余儀なくされ、経済的困難等から学習の機会に恵まれなかった子供が多い事が想定できる。 ・当団体は、放課後に子供たちの居場所をつくり、子供達に学習への切っ掛けとして、読書を用いて学習へ繋げる取り組みを行う。	石巻市
4	一般社団法人石巻じちれん	集団移転地住民および災害公営住宅入居者の地域活動活性化事業	・サロン活動や健康づくり活動、集会所の環境整備などの居場所づくりを実施し、コロナ禍で不活化化した地域住民の心身の健康向上をはかる。 ・災害公営住宅入居者相談会を開催し、災害公営住宅の高齢化による運営不全や見守りの目の充実を図る。また、同一の悩みを抱える住民同士の会合を開催し、住民の交流やコミュニティの健全化を図る。 ・支援者の情報共有の場づくりにより、被災者への包括的な支援体制を構築する。	石巻市
5	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	桂島生き生き倶楽部	加齢に伴う筋力低下や骨・関節の疾患により「立つ・座る・歩く」などの能力が低下するロコモティブシンドローム(通称ロコモ)になる確率が高い「コミュニティ農園」の設置。 1.運動とコミュニケーション場(農園)をつくる。 2.高齢者が交代制で農園管理(1日2~4時間) 3.運動不足解消にグラウンドゴルフを年12回実施。 4.月1回、全島民の昼食会でコミュニケーションを図る。(避難所での食事が懐かしい)	塩竈市
6	一般社団法人雄勝花物語	雄勝ローズガーデンを拠点にした住民交流支援事業	解決すべき地域の課題 震災による人口の減少とコロナ禍の影響で、孤立感を持つ被災住民や生活不活発による心身の機能が低下した住民が増えている。そこでローズガーデンを拠点にした支援活動で生きがいがづくりとコミュニティの強化を図る。 ①住民主体の地域緑化活動の支援 ②雄勝ローズガーデンでの各種交流会の開催 ③手作り会開催で高齢者の生きがいがづくり支援 ④通信の発行と、配布による高齢者の見守り支援	石巻市
7	おらほの家プロジェクト	牡鹿半島地区の心と身体の支援事業	牡鹿半島は、震災によって住民が半減し地域力が崩壊。自営業者が多くリタイアした元気な高齢者が少ない。市街地から遠く社会サービスが十分でない。これらにより被災した高齢者が慣れ親しんだ地元で安心安全に暮らす事が危惧されていますので、次の活動を実施していきます。 ①拠点施設「おらほの家」を使つての送迎付きサロン活動。 ②個別訪問や電話などでの見守り。 ③地域作りや公的機関等との連携協働。	石巻市

8	一般社団法人おりがみ	被災地の子育て支援から広がるコミュニティと繋がりのづくり	①震災による居住環境の変化により増加した核家族世帯の被災者への支援として、子どもを預かる「出張託児」 ②新たに完成した公営住宅において不足している「子育て世帯の居場所」づくり ③地域コミュニティ再生・孤食防止・防犯を目的とした「常設こども食堂」運営	気仙沼市
9	一般社団法人カリタス南三陸	コミュニティ支援と第一次産業支援事業	1) コミュニティ支援事業 ①個別訪問 約50世帯（志津川地区、戸倉地区、歌津地区などへ震災後、高台移転に伴い孤立されている方々へ個別訪問を通して傾聴を行い下記②③④の再開の時期を判断していく） ②お茶っこサロン（志津川中央） ③地域コミュニティ再生イベント（草木染め体験、新米おにぎりの会、クリスマス会、小さなたがい市など） ④保養行楽（志津川地区、歌津地区、障がい児施設、幼稚園の方達で高台移転先で点在している高齢者や障害者、子どもなど生活弱者を対象に、お花見や紅葉狩り、田んぼ遠足、川遊びなど） 2) 第一次産業支援（被災された漁業従事者と農業従事者への寄り添い）約15世帯 個別訪問を通し傾聴して寄り添い、ボランティア受入れ再開の時期を判断していく	南三陸町
10	特定非営利活動法人高齢者サポートチームしおたが	災害公営住宅入居者支援事業	①災害公営住宅入居者の高齢化が一段と進み、加齢に伴う心身の機能低下、健康に不安がある状況にある。 ②マンション型住宅のため近隣とコミュニケーションがとりづらく、孤立、孤独化、認知症が心配である。 ③自治会等組織され、サロン活動、ラジオ体操、移動販売など良い方向に向かっているが、尚支援して活性化を促す必要がある。 ④他団体と連携を深め、協働の必要がある。 ⑤震災の風化防止	塩竈市
11	特定非営利活動法人子ども∞感ばにー	震災により孤立する不登校児童生徒の社会への自立サポートと居場所を通じたコミュニティの再構築	・石巻の不登校数250名に対し民間の受入施設2軒、不登校相談窓口は1軒と足りていない。また本会が拠点を置く東部地区には不登校の居場所施設がないため、フリースクールと相談事業を展開する ・専門機関や教育機関と連携し、不登校一人ひとりに適した処遇対応を行うことで、社会的自立をサポートする ・地域コミュニティ構築のための居場所事業を被災地各地で開催する	石巻市
12	一般社団法人 コミュニティスペースうみねこ	住民主体の地域作り	《住民がイベントを計画、実施する。地域力を高めるためのサポートをしていく》 1. ふれあい農園を利用して作物を栽培する。 2. 戸外に出て活動をする。 復興、ハード面ではどんどん進み道路も新しくなり、素敵な公園は出来上がっているが町民の姿は見えず家の中にもっている人が多い（特に男性） 転倒などちょっとしたけがが多くなってきている。 3. 各地区年2回のイベントを計画し実施する	女川町
13	一般社団法人産直広場ぐるぐる	地域の野菜が結ぶ～見守りマルシェ&サロン地域コミュニティ活性化事業	・復興公営住宅にて地域野菜などの食材や加工食品を販売するマルシェを行うことで、住民が集い顔の見えるコミュニティを構築する活動。 ・おしゃべりすることで親睦を深め、信頼関係の構築、見守り助け合いの精神を促すサロン活動。 ・御用聞きなどを通して生活の質の向上と心を豊かにする活動。 ・趣味の幅を広げ、生活の質を上げるワークショップ活動。 ・地域コミュニティ促進のため、町内会・自治会との協働活動。	仙台市
14	公益社団法人3.11みらいサポート	宮城県広域の伝承コミュニティ活性化と防災教育	昨年度開園の石巻南浜津波復興祈念公園には伝承ゲートウェイ機能や防災教育が期待されており、住民主体で以下の活動を行う。 ・宮城県内被災地からの祈念公園周辺への語り部招聘による広域伝承コミュニティ活性化 ・宮城県内学校の震災を知らない次世代への祈念公園周辺での防災教育機会創出 ・復興祈念公園、震災遺構や伝承交流施設MEET門協等を活用した教育旅行窓口設置と継続性向上のための語り部事業化の挑戦	石巻市
15	一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ	こころのケア専門員相談事業	被災者の精神的不調や生活の問題はいまも続いており、今後も継続的な支援が必要である。 <内容> ・からこステーション（石巻駅前）を拠点にした相談窓口の開設 ・被災者の心の問題について訪問、来所、電話等による相談支援の実施 ・東松島市や女川町等での出張相談会の開催 ・被災者の交流の場づくり ・活動地域内の市町村や関係団体との連携	東松島市

16	特定非営利活動法人スマイルシード	「今を支え・未来を育てる」心と身体で感じるコミュニティ体験事業	コロナの影響により、他者との関わりに距離を置かざるおえない状況下、一層、孤独や孤立、健康や経済不安、生きがいを無くした人々や子育て世代の生活困窮者も少なくない。学生はリモート中心となりコミュニケーションや奉仕活動などの機会を求めています。学生が繋ぐ役割を担い、開放感あふれる自然農体験や空き家活用の居場所「心のケア」と「環境教育・食育」を兼ねた、心と身体に優しい持続可能なコミュニティづくり事業を行う。	石巻市
17	ちびぞうくらぶ	親と子、地域のためのつながりづくり～共育ち・共育て～	「同世代交流・世代間交流・地域交流の拡がり」 震災後、岩沼市では福島県沿岸部などから被災した家族が転入した。その方たちにとって、安心した暮らしが営まれるよう当団体の企画を通して地域との繋がりを強化したい。また地域の高齢者にとっても乳幼児の存在が愛おしく「元気の源」となるよう外出の機会に繋げていきたい。	岩沼市
18	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会	令和4年度SOATにじいろばれっと「心の復興・いしのまき雄勝」	石巻市雄勝町において、身近なものを活用してオリジナル作品を制作する「ものづくりアートワークショップ」を行う。地域ごとに異なる課題があるため当年度では下記の3つのゾーン別に実施する。 ① 明神、小島、大浜地区（地区人口が少なく孤立が顕著） ② 大須、熊沢地区（活動に前向きだがノウハウに乏しい） ③ 雄勝中央地区（人口が拡散する中で雄勝町全体のコミュニティ形成、心のケアを進める拠点として）	石巻市
19	一般社団法人東北まちラボ	山元町被災コミュニティの持続可能な自治会運営支援	新市街地の自治会では、世帯数が確保されている中、担い手確保や若者参画や福祉課題など課題をこれまでの自治会運営のあり方に補われられない新しい自治会運営の仕組みで解決する。浜通り自治会では少世帯で持続可能な自治会運営の構築に取り組み、会長主導から組織主導の運営や自治会連携の構築が課題である。つばめの社公園管理会・桜塚公園管理組織は楽しみながら公園管理を目標に安定的な組織運営を目指す	山元町
20	一般社団法人日本カーシェアリング協会	支え合いカーシェアリングによる移動支援・地域活性化が自覚して地域で継続するための支援事業	地域課題：復興住宅・被災地域の高齢者の交通弱者と孤立化の問題 内容：石巻近郊で11の被災地域で住民主体でボランティア運営による車を使った支え合い活動（高齢者の外出支援・ツアー・サロン等）が行われている。この活動の運営を助け、活動継続のための以下の支援を行う。 ①課題解決・担い手確保・役割分担の促進 ②ツールの提供と活用の支援 ③地域間交流・学びの場づくり 受益者：約500名・平均年齢77歳	石巻市
21	一般社団法人bird's-eye	花を贈ろう！手紙を添えて。災害公営住宅に子供達の元気を届けよう	被災地に咲いた花「あいりちゃん」を通しての交流 1・花「あいりちゃん」を、災害公営住宅の被災者の皆さんと共に育て、小中学校、大学などに贈り、花の成長を通しての交流を行う。 2・生徒、学生、ボランティアに被災者宛に手紙を書いてもらい、返信用のハガキと共に1で育てた花をギフトにして贈る。孤立している方にも、気にかけていますと寄り添う活動 3・遺族「佐藤美香」が現地で語り部を行う	七ヶ浜町
22	特定非営利活動法人ばんぶきんふれあい会	復興住宅入居者と周辺住民の交流促進と孤立を防ぐ地域のセーフティネット構築事業	① 復興公営住宅入居者と周辺住民を対象とした交流会等の支援並びに地域の見守り巡回活動を実施することで住民間のつながりを構築し、ひきこもりなど地域の課題を解決する。 ② 交流会等で関わる地域住民を対象としたボランティア人材の育成（健康運動教室等の指導者研修、要支援者等への訪問型支援受持者研修） ③ 既存ボランティア人材との交流、地域活動の実践機会の提供とその活動のフォローアップ	石巻市
23	特定非営利活動法人東日本ネットワーク手しり隊	4住宅のつながり強化	各住宅は自治会運営等の難しさから派閥闘争などが起きている。その為か各住宅の集まりには同じ顔ばかりが参加し、その中に入る事の出来ない住民は参加することが出来ない。そこで住宅内で関りを持つ事の出来ない住民が他の住宅住民と知り合い、つながりを広げる事の出来るイベントを行う ① 4住宅住民が知り合い集まる場所を作る ② 専門家に向でも相談出来る場所を作る ③ 楽しみながら認知症を予防する	多賀城市

24	一般社団法人フードバンクいしのまき	地域資源との連携による困窮被災世帯の自立・安定した生活へ向けたフードセーフティネットワーク事業	復興公営住宅では、人との関係が希薄になり孤独や孤立を生み出し「助けて」の声も出せない、または何処に相談すればいいのかわからず生活に窮している世帯が存在しており下記の事業を実施する。 (事業の内容) 1) 社会福祉協議会等との支援体制における復興公営住宅でのアウトリーチによる困窮世帯の掘起こし事業 2) 生活相談事業等との連携において被災世帯への食糧支援の対応と「ひとり親世帯」に対する食料支援事業	石巻市
25	フードバンク気仙沼	被災者支援と自立支援のための事業	1. 気仙沼地域相互支援運動の推進（地域内の被災者は地域で協働し支え合う） 2. 被災者の皆さんに地域で集めた食品、日用品を提供し「支援の継続」を周知する。 3. 食品、物資の配布時に連携機関、団体の活動を周知し、相談窓口などを紹介する。 4. フードバンク活動への参加を促し、社会参加の喜びを知ってもらう。（支える側へ） 5. 災害公営住宅でのフードバンク活動周知とフードドライブ実施	気仙沼市
26	一般社団法人フリースペースつなぎ	不登校・ひきこもりの子ども・若者の居場所作り	①不登校・ひきこもりの子ども・若者の居場所・学習支援事業（週5日） 家庭への支援事業 家族を対象とする相談・面談・家庭訪問・電話相談（随時） ②地域の若者を対象とする懇談会・相談会（月1回 公民館） ③不登校・ひきこもりに関する講演会・学習会など（年に3～4回） ④会報・ホームページ・SNSなどによる啓蒙活動	② 気仙沼市
27	特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen	福祉と教育を貫き、子どもを真ん中にした第三の居場所の提供 一どこにもない学童保育を一	震災を機に生活状況が変わり経済的困難をかかえる家庭の児童に ①当クラブ内および中央公民館で無償で学習支援を行い学習指導の機会を与える。 ②放課後子ども教室等で当クラブ内外の子どもたちに多様な体験と交流の機会を与える。 ③土曜にBremen文庫を開設することで、地域児童が読書習慣を身につける援助をする。 これらを一体的に実施し安心して安全な第三の子どもの居場所を提供、保護者の就労を支援する。	石巻市
28	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼	被災地域の孤立・孤独を防ぐ交流の「場」づくりと地域の防災力活性化事業	①被災地域での「見守りサロンコミュニケーション麻雀」及び「傾聴活動」の実施 ②交通弱者の多い災害公営住宅高齢者を対象とした「買い物支援」の実施 ③災害公営住宅にてミニコミ誌「ベンのとびら」の発行 ④南気仙沼・鹿折のまちづくり協議会運営支援及び災害公営住宅との交流促進 ⑤内外に対しての防災教育・防災訓練及び防災語り部の実施 ⑥支援者情報交換会への参加及び運営サポート	気仙沼市
29	みやぎ青葉の会（宮城県クレジット・サラ金問題を解決する会）	東日本大震災の被災地域における、弁護士・司法書士による法律相談支援事業。	県内各地の沿岸部の公共施設に弁護士・司法書士等が出張して、東日本大震災被災者を主な対象とした無料法律相談会を開催。 相談内容は、多重債務相談、一般法律相談その他労働、生活全般にわたる相談。 1日につき弁護士・司法書士各1～3名、一般相談員1～2名程度。 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、人数限定の事前予約制とする。	仙台市
30	特定非営利活動法人やっぺす	石巻圏域の復興住宅を中心とした持続可能なコミュニティ形成と心のケア事業	①コミュニティの分断による孤立解消の為、住民を講師としてサロン活動やイベントを開催し、持続可能なコミュニティ形成と生きがいづくりを行う。（月5回） ②心のケアを行い、住民の孤立感の解消を図り、研修により質の向上を目指す。（月5回） ③震災の影響で分断された地域住民が一緒に参加でき、交流するためのバス遠足を行う。（年1回） ④県外の被災地コミュニティの視察を行い、今後の在り方を模索する。（年1回）	石巻市
31	一般社団法人WATALIS	被災地の未来を創る種をまく 地域住民の交流による仲間創りと地域活力再生事業	・被災者の生活再建のためには互いに見守り合う仲間が大切であるにも関わらず、コロナ禍により地域住民の孤立化が進行している。 ・震災後の若年層や現役世代の流出と住民の高齢化で、里地里山を守る担い手が不足。遊休農地が増加し、地域活力が低下している。 事業内容 1 新たな交流機会の創出と仲間創り 2 被災者が主体的に復興と地域創りに貢献できる交流活動 3 活動の普及啓発と支援者の獲得による持続可能な仕組み創り	亶理町